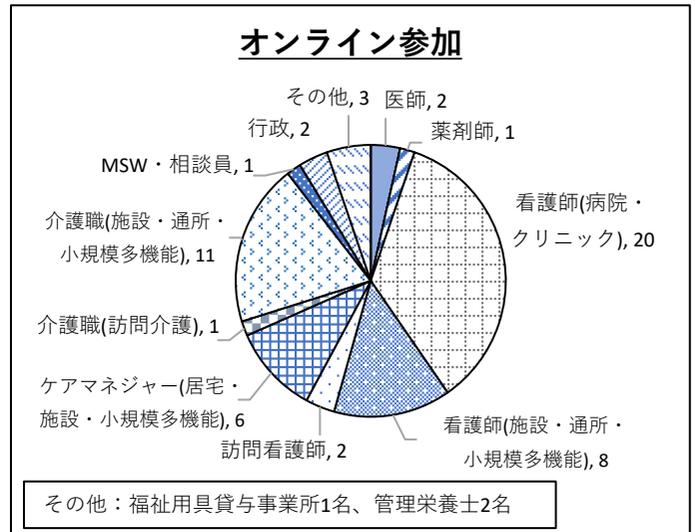
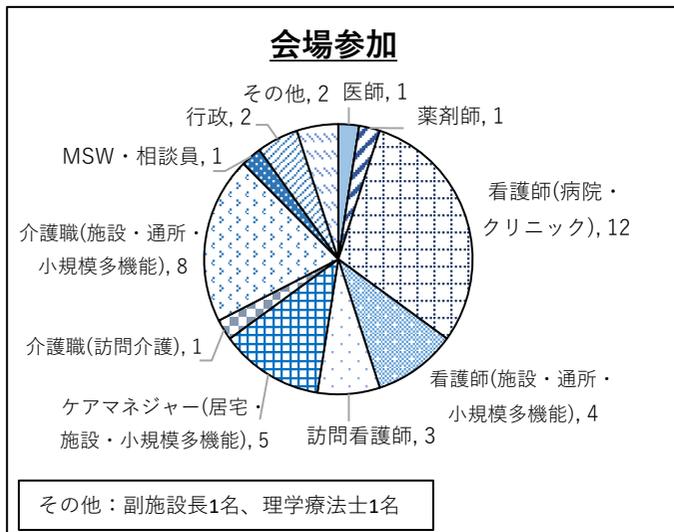


令和5年度 第1回いいせんネット研修会アンケート結果

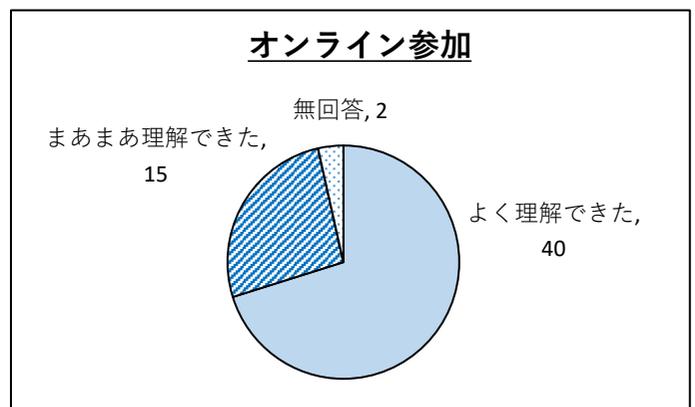
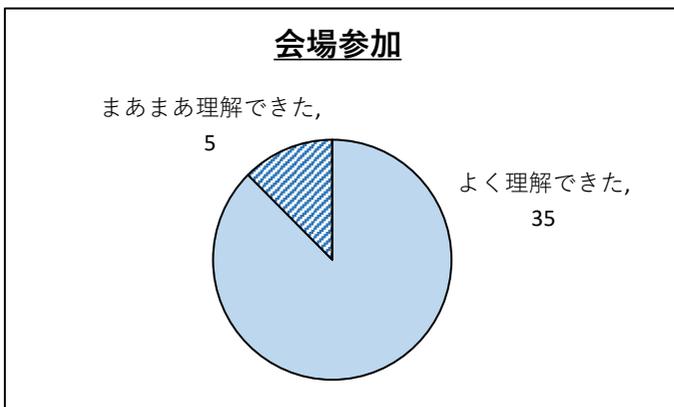
日時：令和5年5月26日(金) 19時～

回答率：会場参加 40/42名、オンライン参加 57/102名

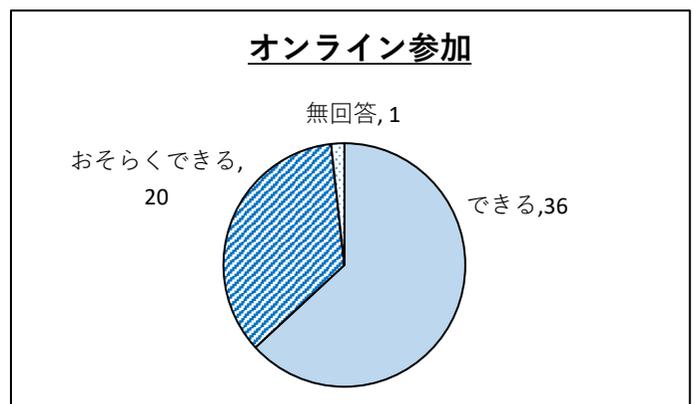
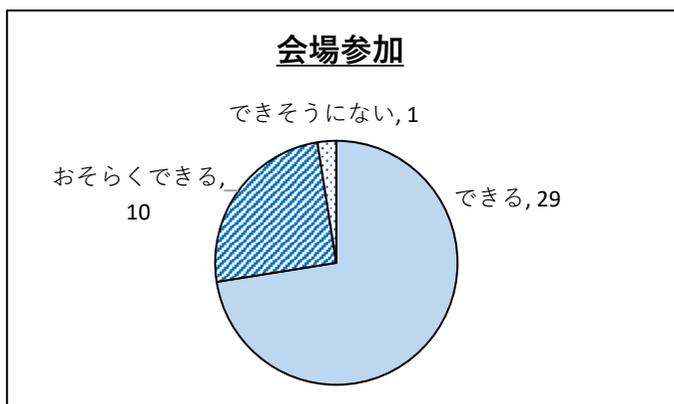
1. 職種について



2. 講演の内容や実践的なケアについて、理解することができましたか？



3. 今後の高齢者の褥瘡ケアに生かすことができそうですか？



4. 本日の研修内容について、ご意見等があればお聞かせください。

会場	・乾燥している皮膚の特徴をよく理解できました。リスクアセスメントを学べてよかったです。
	・完治しない褥瘡の利用者への対応に大変参考になりました。IADの症状がある為、パットの検討などを試してみたいと思います。
	・神菌先生の研修を受けていると、訪問に行った際の実践にとっても役立ちます。ただDESIGN-Rの評価をする際の判断がむずかしいと感じる時もあります。その評価で次にどうしたらよいかを今後教えてほしいと思いました。
	・実例を基に説明いただき、大変参考になりました。ありがとうございました。
	・ポジショニングがためになった。
	・日頃の業務で悩んでいることが解決できました。
	・ありがとうございました。勉強・復習になりました。
	・施設勤務となり、褥瘡をみる機会が減っています。ケアについて忘れていたことや新しいことなども知ること、思い出すことができてよかったです。
	・実際にできることがたくさんあり、勉強になりました。
	・わたしの所だと激しい褥瘡の方がまだ少ないのでもしもの時はまた確認させていただきます。
	・分かりやすくて良かったです。
	・現場から離れていたため、大変勉強になりました。身近なところから活かしていきたいと思いました。
	・いつもお世話になっている神菌さんの研修内容は現場で有効活用させて頂いています。ありがとうございました。
	・背上げ時の背抜き、足抜きを確実に行うことで、褥瘡の予防につながることを知り、実際に心がけていきたいと思いました。
	・褥瘡ケアは、栄養状態も関係しますが、食べない方は、栄養補助食品以外に必要なものがありますか。
	・職種柄、褥瘡等に触れる機会がなく、勉強したこと以外はまったく知らない事ばかり。今回の研修で多くのことを知ることができ、とても自身の身になりました。
	・現在担当しているご利用者様にも褥瘡治療中の方がおられ、なかなか治らない状態です。今日の内容を役立てたいと思います。ありがとうございました。
・実践的で良い研修会でした。	
・現場ですぐに使える内容でした。	
・分かりやすかった。	
・褥瘡とIADの違いなど分かりやすかった。	
オンライン	・漠然と認識していたことが、スケールや知識として身につきました。非常に分かりやすい講演でした。ありがとうございました。ベッドやマットレスの納品時にも、利用者様へ説明しやすくなりました。
	・臀部の褥瘡での処置でフィルムのカット方法、ワセリン塗布実施することなど、今後実践していきたいと思います。
	・今回も分かりやすく、有益な講演でした。有難うございます。
	・今までの経験を踏まえて知っていること、知らないことあり、とても勉強になりました。
	・施設の利用者様に直結する内容でとても勉強になった。
	・褥瘡のケアにしっかりとあたったことがなかったので、症例(写真等)あり、貴重な資料でした。日常で行うべきベッド上でのポジショニング、気を付けるべき点として行っていこうと思います。初心にかえり、背抜き等気を付けたいです。同時にできることとして、日々の栄養摂取、入浴時のスキンチェック、初動がしっかりできるようにしていきたい。
	・スキフレイルツールというものをはじめてみました。自分の分かっている部分以外で勉強になりました。
	・栄養面等での工夫もできるとのこと、日々の介護の中で考えながら行いたいです。
	・タンパク質は大事だと思った。
	・内容もわかりやすく、参考になることが多かったです。
	・大変わかりやすかったです。勉強になりました。背抜き、足抜きを改めて思い出されました。背抜きはしても、足抜きは忘れがちであった。IADと褥瘡の違いを理解できたので、仕事に活かしていきたい。
	・今後役に立つ勉強会でした。保湿剤の種類も塗り方などが分かりました。ありがとうございました。
	・スキンケア、IAD、浸軟、OHスケール、背抜き、ポジショニンググローブは今回の研修会ではじめて聞いた言葉でした。
	・わかりやすい講演でした。日々に活かすことができそうです。
	・基本的な内容の確認から実践面でのアドバイスなど大変参考になりました。学会の発表を拝聴している感じでした。ありがとうございました。
	・例も交えてかなり分かりやすく理解できました。
	・具体的でわかりやすい講義でした。資料も一例上げてあるなど理解しやすかったです。
・とてもわかりやすかった。	

	<p>・褥瘡、スキンテアについての振り返りができた。栄養も大切、ポジショニングも大切だということが、改めて理解できた。</p> <p>・褥瘡、スキフレイル、スキンテア、IADの違いが分かりやすかった。特に褥瘡は、IADをどう判断するかに迷いがありましたが、納得でき、今後のケアにとっても役立つ情報がわかりやすくありがたかったです。ありがとうございました。</p> <p>・高齢者の多い中、日々のケアに悩むときもあります。専門の科の受診などの境界線に悩んだり、判断に苦しむこともあります。今回、再学習できました。ですが、今回の研修内容で、日常的に予防的スキンケアを実践することや、褥瘡、IADなど、日常の利用者様の生活状況を再度見直して行くべきだと思いました。</p> <p>・今までなんとなく雰囲気であっていたような感じてでしたが、ひとつひとつ明確に理解できたので、勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p>・私の父も皮膚が薄くすぐにスキンテアがおきてました。ステロイドを内服しているからだろうと思っていましたが、乾燥や摩擦などの影響もあることを知り対策を考えていきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>・つい使用してしまうおしりふきも使い方によっては皮膚炎症を悪化させることを学び、また良かれと思って行っている洗浄もやりすぎは禁物と。本日参加して改めて学ぶことができた。</p> <p>・スキンケアの方法や保湿剤選択等とても分かりやすかったです。食事内容、特にタンパク質摂取の必要性も説明しながら食事指導を行っていくとともに、ヘルパーさん方との連携を図りながら対応していこうと更に強く感じました。とても分かりやすい内容でした。ありがとうございました。</p> <p>・褥瘡が治るまでにかかなり時間がかかりますが、発生原因を追求し予防することが大切だと思いました。勉強になりました。ありがとうございました。</p>
オンライン	<p>・IADと褥瘡の違いや識別は初めて聞くこともあり勉強になりました。背上げ時に生じるずれにより褥瘡ができることは知っていたのですが、背上げの仕方や軽いものはワセリンだけでも改善することなど看護されている時の経験が聞けてよかったです。家族の介護の経験やお父さんへの保湿剤を10日間使用した後の変化を見せてもらい、自信を持って冬場のかさつきや痒みを訴える患者さんへの保湿の大切さを指導できます。ありがとうございました。</p> <p>・MSWなので実際の職務としては褥瘡には関わりませんが、現在リモート面会などで患者様のベッドの背上げ時、上半身だけベッドをギャッチアップすることが多かったので、今回大変勉強になりました。</p> <p>・なんとなく理解していたことをより分かりやすく学ぶ機会となり、今後に活かしていきたいと思いました。</p> <p>・IADの時に便、尿失禁では、拭き取りを丁寧にしてしまうことが多くなってしまいます。改めて頻回でなくてよいこと(皮脂成分の減少)、洗浄が良いことと再確認となった。</p> <p>・当院にて褥瘡発生、持ち込み患者有。処置等の参考となりました。スキントラブルにおいても、おしりふきで拭く等しており、洗浄のみの講義に驚いてしまいました。講演ありがとうございました。</p> <p>・食事前、背上げ時のキーワード、背抜き、足抜きを行う必要があることがわかりました。</p> <p>・スキンケア、栄養、高齢化による皮膚の変化など、よく理解できました。ありがとうございます。</p> <p>・IADや、洗浄液、保湿剤など多くのことを教えていただき参考になりました。ありがとうございました。</p> <p>・説明がわかりやすく、これからの介護で取り入れ、注意して行っていきたいと思いました。</p> <p>・前回の褥瘡のケアの研修も参加させていただき、勉強になり、今回の研修もとても勉強になりました。内容も日々介護しながら悩んでいるものばかりで、研修での現実的な内容に前のめりになり聞いておりました。ありがとうございました。</p> <p>・質問です。皮膚状態は良く、発疹・乾燥など何もない状況ですが、搔痒感の訴えがあり、ワセリン対応をしています。このような時は、ワセリン対応でよろしいのでしょうか。よろしくお願ひします。</p> <p>・実際に行ってる処置等のお話もあり、現場で活かしていくことができると感じました。栄養の摂り方等も参考になりました。</p>

5. 今後の研修会で聴いてみたい・学びたい内容があればお聞かせください。

会場	・コロナ後の感染予防対策	・皮膚剥離等の皮膚疾患について
	・糖尿病ケア	・帰宅願望時のケア
	・フットケア	・ACPについて
	・認知症対応	・症例を見てアセスメント
	・せん妄対応	・ポジショニング、移乗介助、食事介助等に関する実技を同時にしていきたい
	・急変時対応	
オンライン	・虐待について	・施設での急変時対応について
	・筋力低下による認知症低下との関係性	・退院支援について
	・咀嚼、嚥下、口腔ケアなど	・簡易懸濁法での服薬を実践されているところがあれば良かったところや失敗した事(懸濁にむかない薬)を教えてください
	・認知症の方との接し方	
	・ハラメントについて	
	・また、新たな処置法など学びたい。	・誤嚥の予防(介助時に気を付けることなど)